

竹島問題に関する調査・研究等に功績のあった 功労者に対する感謝状贈呈者一覧

* 敬称略・五十音順

| 区分 | 氏名（年齢） | 功 績 |
|----------|-------------------------|--|
| 資料 提供 | さいとう しょういち 齋藤 昭一（76） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 隠岐の島町在住 ・ 齋藤氏の祖父、齋藤富太郎氏が所蔵されていた「齋藤家資料」を隠岐の島町に提供いただいた。 ・ 齋藤富太郎氏は、海産物商等を営み、昭和初期から久見地区の人々と共に竹島で漁業を経営していた。 ・ 「齋藤家資料」は、昭和14年の竹島でのアシカ猟に関する計算書で、納税に関する詳細な記録も含まれており、当時の行政権行使の状況を明らかにするものである。 ・ また、西郷町内で調達した物資の購入先や金額、人件費、船のチャーターなど竹島での漁業経営の細部をも明らかにする貴重な資料である。 |
| 研究 協力 | まえだ やすずみ 前田 安住（74） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 西ノ島町在住 ・ 明治後期、隠岐の島町久見地区の石橋松太郎組に属し、竹島でアシカ猟に従事した近藤家（西ノ島町別府地区）の調査研究にご協力いただいた。 ・ 同氏の貴重な証言などをもとに調査が進められたことで、近藤家の墓地や居宅跡の発見に繋がったほか、鬱陵島島友会報の大会出席者に近藤家のご子孫がいたことが確認された。 ・ これらにより、竹島に渡航した近藤謙八の渡航当時の状況のほか、近藤家の当時の資産状況や戦前鬱陵島で生活していたことが明らかになるなど、西ノ島町の竹島渡航者に関する研究の進展に貢献された。 |
| 資料 提供 | みやた ひろし 宮田 洋（71） | <ul style="list-style-type: none"> ・ 松江市在住 ・ 宮田氏の父、元島根県職員で詩人でもあった宮田隆氏が所蔵されていた竹島関係の資料17点を竹島資料室に寄贈いただいた。 ・ 寄贈された資料は、江戸幕府史書の抜書のほか、竹島の研究者田村清三郎氏が収集し、同氏の雅号が押された歴史資料や漁業記録などである。 ・ これらは、島根県発刊「島根県竹島の研究」や竹島の基本書として広く知られる田村氏発刊「島根県竹島の新研究」の基礎資料であり、李承晩ライン設置直後の緊迫した当時の調査研究の足跡を示す貴重な資料である。 |

* 年齢は2019年2月22日現在